

資料編：用語集

あ 行

ISDN（アイエスディーエヌ）

電話回線をデジタル化することで、電話やファクス、データ通信などを統合して扱うことのできるデジタル通信網のこと。

ICT（アイシーティー）

Information and Communication Technology（インフォメーション・アンド・コミュニケーション・テクノロジー）の略。情報通信技術のこと。

IT（アイティー）

「情報技術」のことで、コンピューターやデータ通信に関する技術の総称のこと。

ID（アイディー）

コンピュータシステムの利用において、ユーザを識別するために用いられる符号のこと。

IPアドレス（アイピー）

ネットワーク上の機器を識別するために指定するネットワーク層における識別用の番号のこと。

IPv4アドレス

インターネットの基礎となる通信規約（プロトコル）であるIP（Internet Protocol、インターネットプロトコル）の第4版のこと。

IPv6

現在主流のインターネットプロトコルである IPv4アドレス にかわるものとして設計された、次世代のインターネットプロトコルのこと。

アプリケーションソフト

文書の作成、数値計算など、ある特定の目的のために設計されたソフトウェアのこと。

インターネット

全世界の個人や企業、大学等のコンピュータネットワークを相互に接続し、情報のやりとりを可能としたコンピュータネットワークのこと。

インフラ

Infrastructure（インフラストラクチャー）の略。生産や生活の基盤を形成する構造物。ダム・道路・港湾・発電所・通信施設などの産業基盤などの社会的生産基盤のこと。

Webアクセシビリティ（ウェブアクセシビリティ）

Webを利用するすべての人が、年齢や身体的制約、利用環境等に関係なく、Webで提供されている情報に問題なくアクセスし、コンテンツや機能を利用できること。

FTTH（エフティーティーエイチ）

Fiber To The Homeの略。光ファイバーによる家庭向けのデータ通信サービスのこと。一般家庭に光ファイバーを引き、大容量のデータ通信サービスを可能とする。

SNS（エスエヌエス）

ソーシャルネットワーキングサービスの略称。人と人とのつながりを促進・サポートする、コミュニティ型のWebサイトのこと。

Lアラート（エルアラート）

安心・安全に関わる公的情報など、住民が必要とする情報が迅速かつ正確に住民に伝えられることを目的とした情報基盤のこと。

LED（エルイーディー）

発光ダイオードの略であり、照明・電球・ライト・テレビなど幅広い分野で利用されている。

ASPサービス（エーエスピー）

ASPはApplication Service Provider（アプリケーションサービスプロバイダー）の略。アプリケーションソフトをインターネット経由で利用できるようにしたオンラインサービスのこと。

ADSL（エーディーエスエル）

一般家庭に広く普及している電話回線を使ってコンピュータのデータを伝送する高速通信システムのこと。

か行

クラウド

「cloud=雲」。最近では、クラウドコンピューティングともいう。

データを自分のパソコンや携帯電話ではなく、遠隔地のデータセンター等で保管し、インターネットなどのネットワークを通じて利用するサービスのこと。

グループウェア

コンピュータネットワークを利用して、複数の人間からなるグループでの情報共有及びそれらの相互作用を円滑化するソフトウェアの総称のこと。代表的なグループウェアの機能として、電子メール、電子掲示板などがある。

ケーブルテレビ（CATV）

専用のケーブルを用いて、住宅にテレビ放送を提供するサービスのこと。現在では、敷設したケーブルのネットワークを活かして多チャンネル放送、高速インターネット接続サービス、ホームセキュリティなど多様なサービスを展開しており、光ファイバー、ADSL と並びブロードバンドの選択肢の一つにもなっている。

ケーブルプラス電話

ケーブルテレビ事業者の通信回線を経由して、利用者宅の電話機と通信設備をつなぐ固定電話サービスのこと。

広域イーサネット・サービス

広域イーサネットは、地理的に離れたLAN間などをイーサネットインターフェースで接続する技術もしくは電気通信役務のこと。

公衆スポット

無線LANのアクセスポイントから受信できる場所のこと。

公衆無線LAN

店舗や公共の空間などで提供される、無線LANによるインターネット接続サービスのこと。無線LANはケーブル線の代わりに無線通信を利用してデータの送受信を行うLANシステムのこと。

コンテンツ

電子的な手段で提供する情報のなかみのこと。

コンピュータウイルス

電子ファイル、電子メール等を介して次々と他のコンピュータに自己の複製プログラムを潜伏させていき、その中のデータやソフトウェアを破壊するなどの害を及ぼすコンピュータプログラムのこと。

さ 行

サイバー攻撃

コンピュータシステムやネットワークを対象に、破壊活動やデータの窃取、改ざんなどを行うこと。

サーバー

ネットワーク上でサービスや情報を提供するコンピュータのこと。インターネットではウェブサーバー、DNSサーバー（ドメインネームサーバー）、メールサーバー（SMTP/POPサーバー）等があり、ネットワークで発生する様々な業務を内容に応じて分担し集中的に処理する機器のこと。

自治体クラウド

地方公共団体が情報システムを庁内で保有・管理することに代えて、外部のデータセンターで保管・管理し、通信回線を経由して利用できるようにする仕組みのこと。複数の公共団体の情報システムの集約と競合利用を進めることにより、経費の削減と住民サービスの向上を図るもの。

情報リテラシー

情報機器やITネットワークを活用して、情報・データを管理、活用する能力のこと。

CIO（シーアイオー）

Chief Information Officer（チーフ・インフォメーション・オフィサー）の略で、情報システム部門の最高情報責任者のこと。

CSVファイル（シーエスバイ）

いくつかのフィールド（項目）をカンマ「，」で区切ったテキストデータおよびテキストファイルのこと。

CS（シーエス）

Communication Satelite（コミュニケーション・サテライト）」の略で「通信衛星」のこと。CSデジタル放送は、通信衛星を利用して発信されるテレビ放送のこと。

CMS（シーエムエス）

Content Management System（コンテンツ・マネジメント・システム）の略。ホームページなどのWebコンテンツの更新・作成などを管理する仕組みのこと。

CPU（シーピーユー）

コンピュータの心臓部ともいえる回路のことで、コンピュータ内でプログラムの実行および、演算、データの加工などを行う装置のこと。

スマートテレビ

インターネットに接続された多機能テレビのこと。

スマートフォン

従来の携帯電話に比べてパソコンに近い性質を持った情報機器のこと。

セキュリティポリシー

企業や団体における情報セキュリティに関する基本方針を指す。大切な「情報資産」をどのような脅威から、いかにして守るのかについて、基本的な考え方やセキュリティを確保するための体制、運用規定、具体的な手順や実施方法などについて明文化してまとめたものである。

た 行

タブレット

液晶ディスプレイなどの表示部分にタッチパネルを搭載し、指で操作する板状の携帯情報端末のこと。

地域インターネットレジストリ

管轄地域において、IPv4アドレス、IPv6アドレス等の配分と登録を管理する組織のこと。

超高速ブロードバンド

ブロードバンドのうち下り伝送速度が30Mbps以上のものをいう。

地理情報システム（GIS）

GISはGeographical Information System（ジオグラフィック・インフォメーション・システム）の略。位置に関する情報を持ったデータを総合的に管理し、加工し、視覚的に表示し、高度な分析や迅速な判断を可能にするシステムのこと。

Twitter（ツイッター）

個々のユーザーが「ツイート」（tweet）と呼ばれる140文字以内の「つぶやき」を投稿し、そのユーザーをフォローしているユーザーが閲覧できるサービスのこと。

デジタルサイネージ（公共端末）

表示や通信にデジタル技術を採用した電子看板のこと。映像や情報を表示する広告媒体等として利用されている。ブロードバンド光回線、DSL、ケーブルインターネットをはじめとした高速・超高速通信を可能とする回線のこと。

デジタルテレビ放送

従来のアナログ方式と比べて、より高品質な（ゴーストや雑音のない）映像と音声を受信することができる新たな放送のこと。

テレトピア計画

テレトピアは、テレコミュニケーション（電気通信）とユートピア（理想郷）を合わせた造語。ケーブルテレビ等の情報通信メディアを活用して、地域の情報化を促進し、地域社会の活性化を図ることを目的とする計画のこと。

データセンター

サーバーを設置するために、高度な安全性等を確保して設計された専用の建物・施設のこと。サーバーを安定して稼働させるため、無停電電源設備、防火・消火設備、地震対策設備等を備え、IDカード等による入室管理などでセキュリティが確保されている。

データ放送

デジタルデータを送信することを目的とした放送のこと。

電子メール

コンピュータ通信ネットワーク上で、文書・画像などの情報を伝達するための通信システムのこと。

電子決済

商品またはサービスの代価としてお金を支払う場合、硬貨や紙幣などの現金で支払うのではなく、電子データをやり取りすることで支払いを行うこと。

な 行

ネットワーク

複数のコンピュータを接続して、相互に通信できるようにした状態のこと。

は 行

パソコン

パーソナルコンピュータ（Personal computer）の略。個人用の小型コンピュータのこと。

光ファイバ

ガラスやプラスチックの細い繊維できている、光を通す通信ケーブルのこと。

BS（ビーエス）

Broadcast Satellite（ブロードキャストサテライト）の略で、「放送衛星」のこと。BSデジタル放送は、この放送衛星を利用して発信されるテレビ放送のこと。

PHS（ピーエイチエス）

携帯端末を用いて屋外で無線による公衆通話・データ通信ができるようにした通信サービス、また、そのような携帯端末のこと。一般的には設備や仕様を簡略化した携帯電話の一種とみなされる。

Facebook（フェイスブック）

日本でも幅広い年齢層に使われているソーシャルネットワークサービス（SNS）の一つ。基本データとして実名や生年月日などを登録するため、友人とのコミュニケーションだけでなくビジネスの場でも多く使われます。

不正アクセス

あるコンピュータへの正規のアクセス権を持たない人が、ソフトウェアの不具合などを悪用してアクセス権を取得し不正にコンピュータを利用する、あるいは試みること。

プログレスレポート

経過報告書のこと。

ブロードバンド

高速・大容量の通信ができるネットワーク回線のこと。

ホームページ

インターネット上で文字・画像などをレイアウトして見せ、簡単にアクセスできるようにするための仕組みのこと。

ま行

無線LAN

無線通信を利用してデータの送受信を行うLANシステムのこと。

や行

You Tube（ユーチューブ）

撮影・編集した動画データをインターネット上に公開し不特定多数のユーザーと共有できる動画共有サービスのこと。

ら行

LINE（ライン）

スマートフォンや携帯電話、パソコンなどに対応したインターネット電話やチャットなどの機能を有するコミュニケーションアプリケーションのこと。

わ行

ワイヤレスブロードバンド

ADSLや光ファイバーなどのブロードバンド通信に準じる通信速度を実現する、無線通信サービスや技術の総称のこと。

その他

4K・8K

表示パネルの画素数が、4Kはフルハイビジョンの4倍ある高画質化、8Kはフルハイビジョンの16倍の高画質のもの。